

# 牛肉輸出をめぐる動向

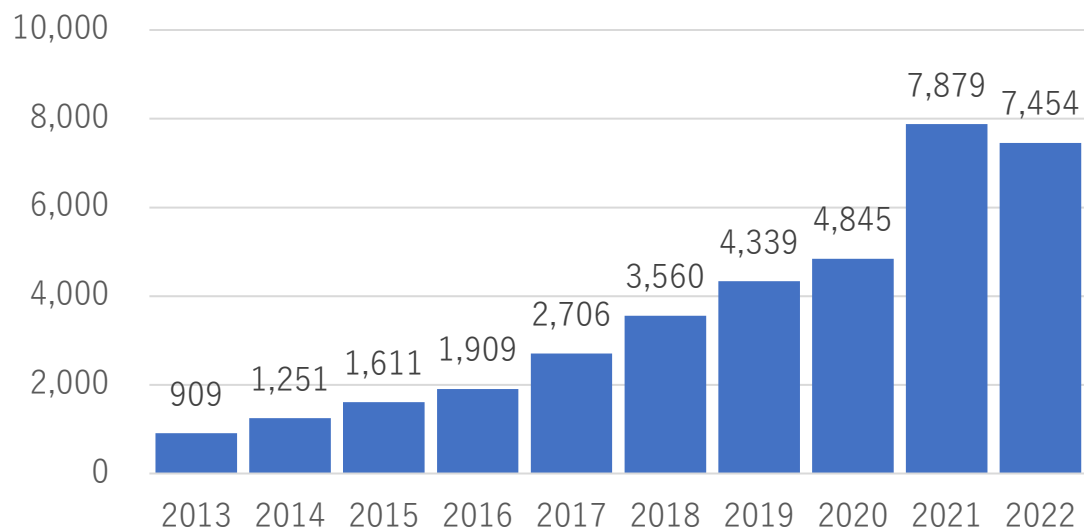
## 2022年輸出実績

# 1 輸出量、金額、単価の推移

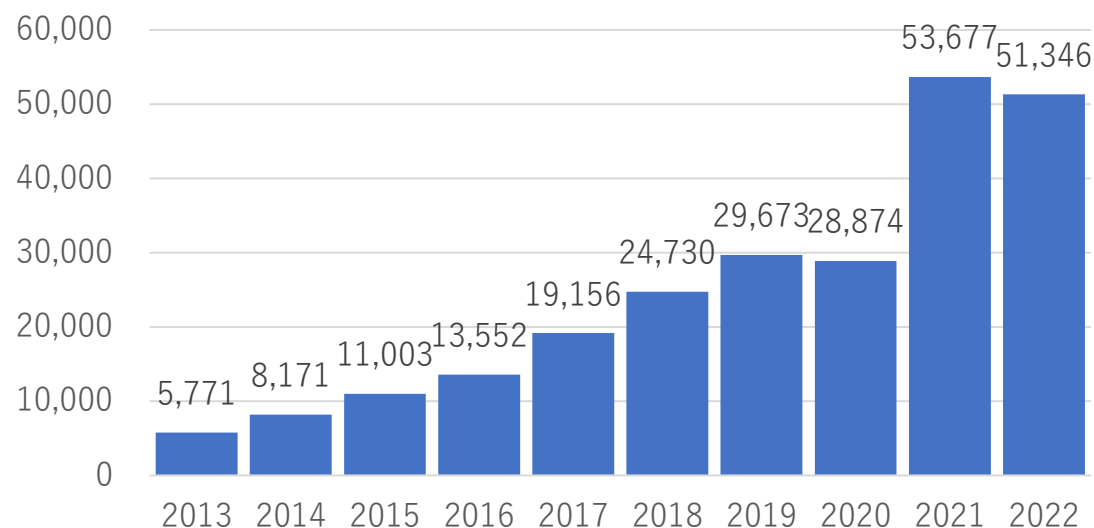


- 2022年の牛肉輸出は、数量で前年比95%、金額で同96%といずれも前年より減少
- 輸出単価は、前年比101%と前年よりわずかに上昇

### 牛肉輸出数量（トン）



### 牛肉輸出金額（百万円）



	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	前年比
数量（トン）	909	1,251	1,611	1,909	2,706	3,560	4,339	4,845	7,879	<b>7,454</b>	95%
金額（百万円）	5,771	8,171	11,003	13,552	19,156	24,730	29,673	28,874	53,677	<b>51,346</b>	96%
単価（円/kg）	6,348	6,529	6,831	7,098	7,078	6,947	6,838	5,960	6,813	<b>6,888</b>	101%

資料：財務省「貿易統計」（正肉）。以下の輸出金額及び数量に関するすべてのデータの出典は同じ。

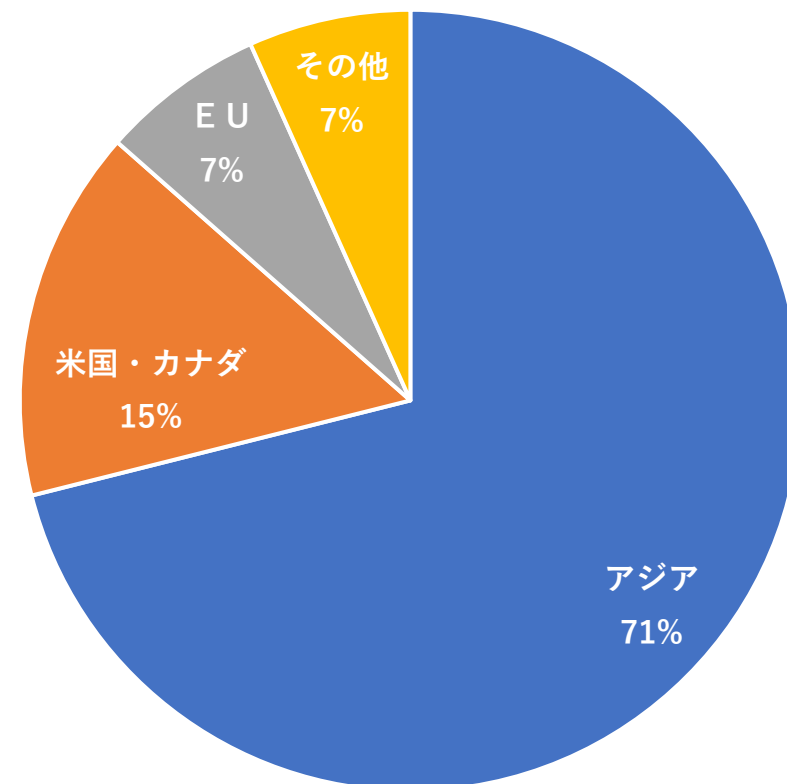
## 2 主な輸出地域



- 2022年は、数量ベースでアジア向けが71%、米国・カナダ向けは15%を占めた。
- 金額ベースでは、アジア向けが63%と数量ベースより縮小する一方で、米国・カナダ向けは19%、EU向けは10%を占めた。

		数量（トン）	割合	金額（百万円）	割合
2021	アジア	5,931	75%	36,896	69%
	米国・カナダ	1,247	16%	10,892	20%
	EU	362	5%	3,511	7%
	その他	339	4%	2,378	4%
	合計	7,879	100%	53,677	100%
2022	アジア	5,299	71%	32,542	63%
	米国・カナダ	1,149	15%	9,857	19%
	EU	506	7%	5,033	10%
	その他	500	7%	3,914	8%
	合計	7,454	100%	51,346	100%

2022年 地域別輸出数量割合



注：EUには英国を含む。以下のEUの表記は同じ。

### 3 国・地域別の輸出実績

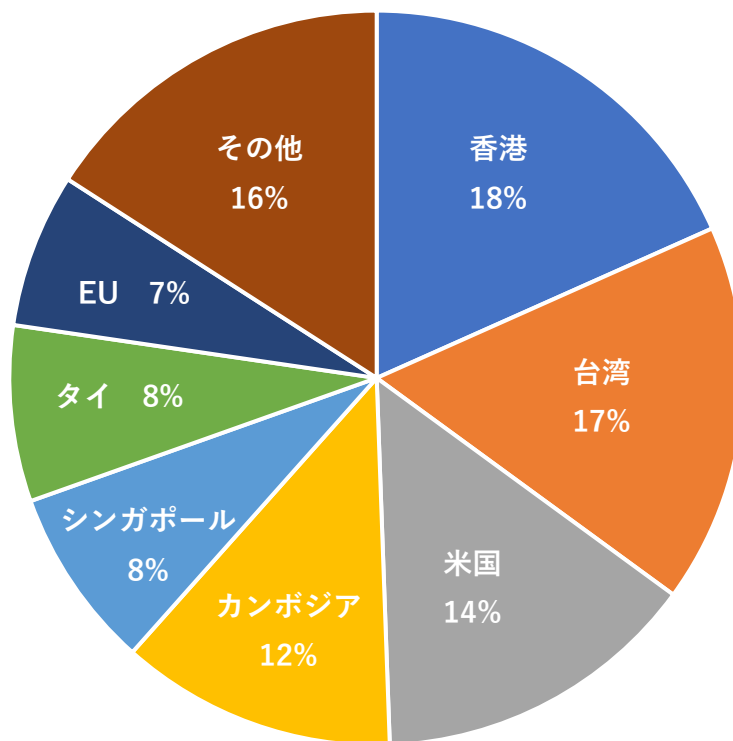


- 2022年の数量ベースでの輸出先国トップ5は、香港（18%）、台湾、米国、カンボジア、シンガポールの順
- 金額ベースでは、米国（19%）がトップで、次いで香港、台湾、カンボジア、EUの順

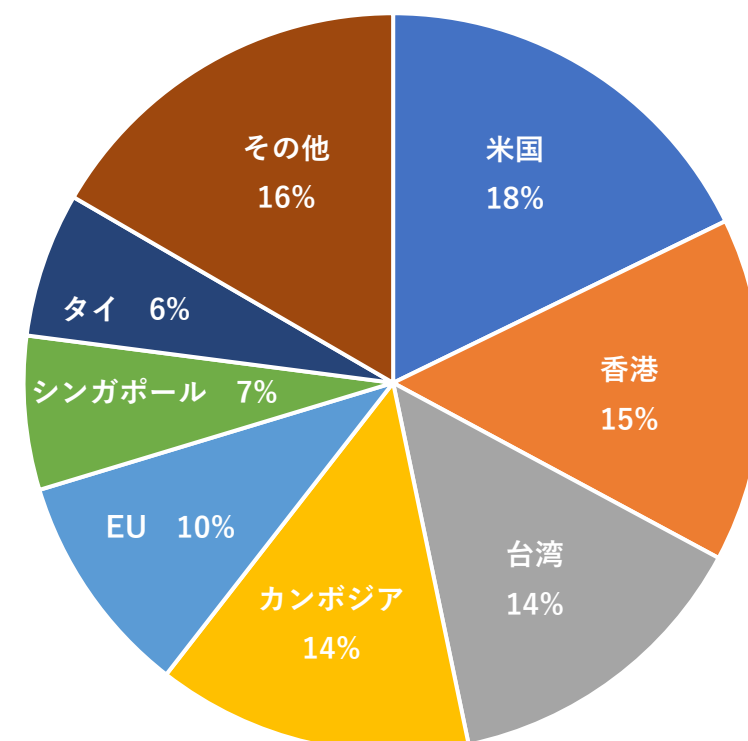
牛肉の輸出先別数量（トン）

	2021年	2022年	シェア	前年比
香港	1,383	<b>1,366</b>	18%	99%
台湾	972	<b>1,246</b>	17%	128%
米国	1,178	<b>1,073</b>	14%	91%
カンボジア	2,218	<b>906</b>	12%	41%
シンガポール	463	<b>595</b>	8%	129%
タイ	306	<b>577</b>	8%	188%
EU	362	<b>506</b>	7%	140%
その他	996	<b>1,185</b>	16%	119%
合計	7,879	<b>7,454</b>	100%	95%

2022年 国別輸出数量シェア



2022年 国別輸出金額シェア

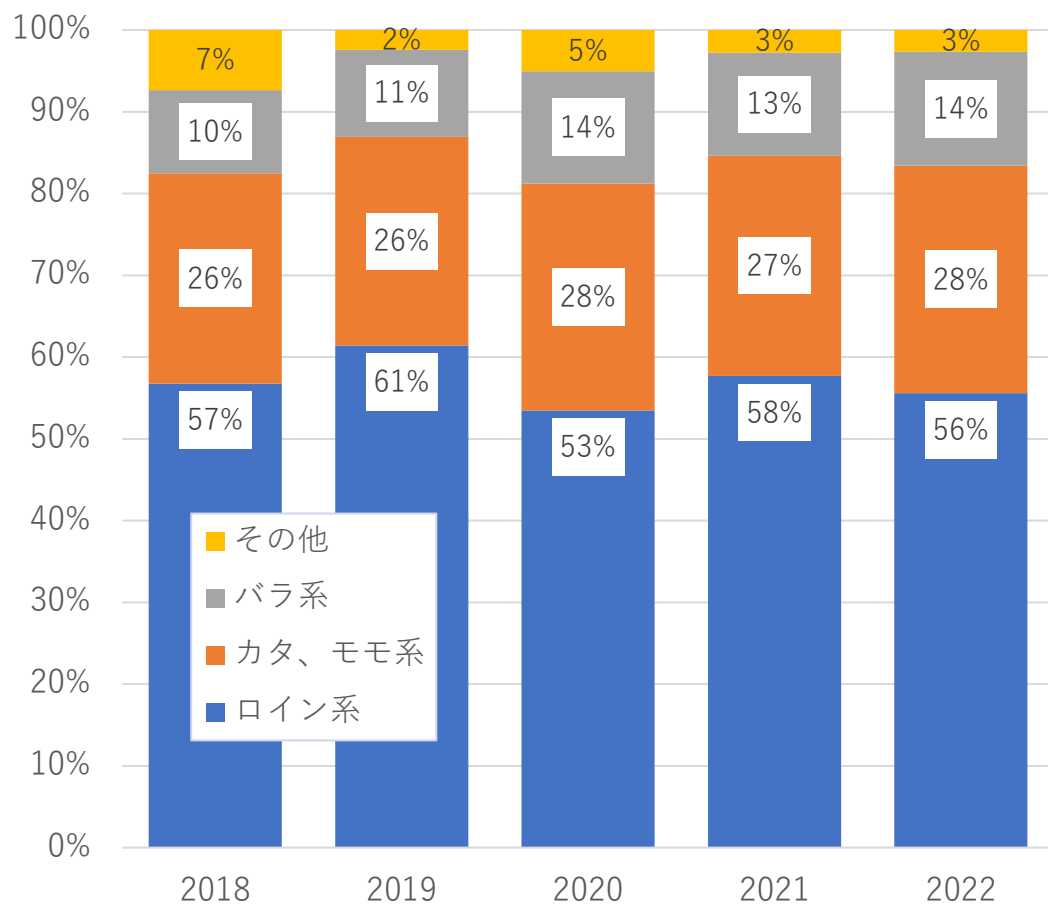


## 4 部位別の比率

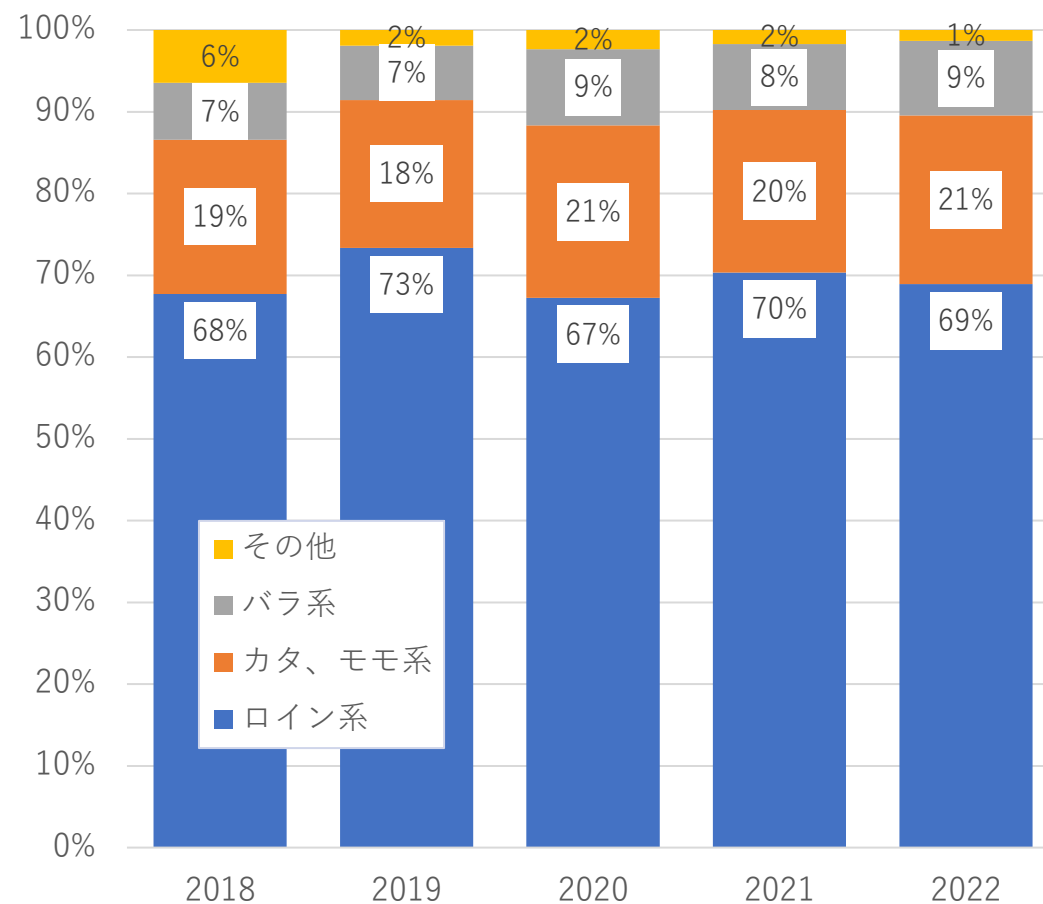


- 2022年に輸出された牛肉の部位別割合は、ロイン系が最も多く数量ベースで56%（金額ベースで69%）を占め、以下、カタ・モモ系が28%、バラ系が14%、その他3%の順
- これらの割合は、前年とほぼ同様

品目別輸出割合（数量ベース）



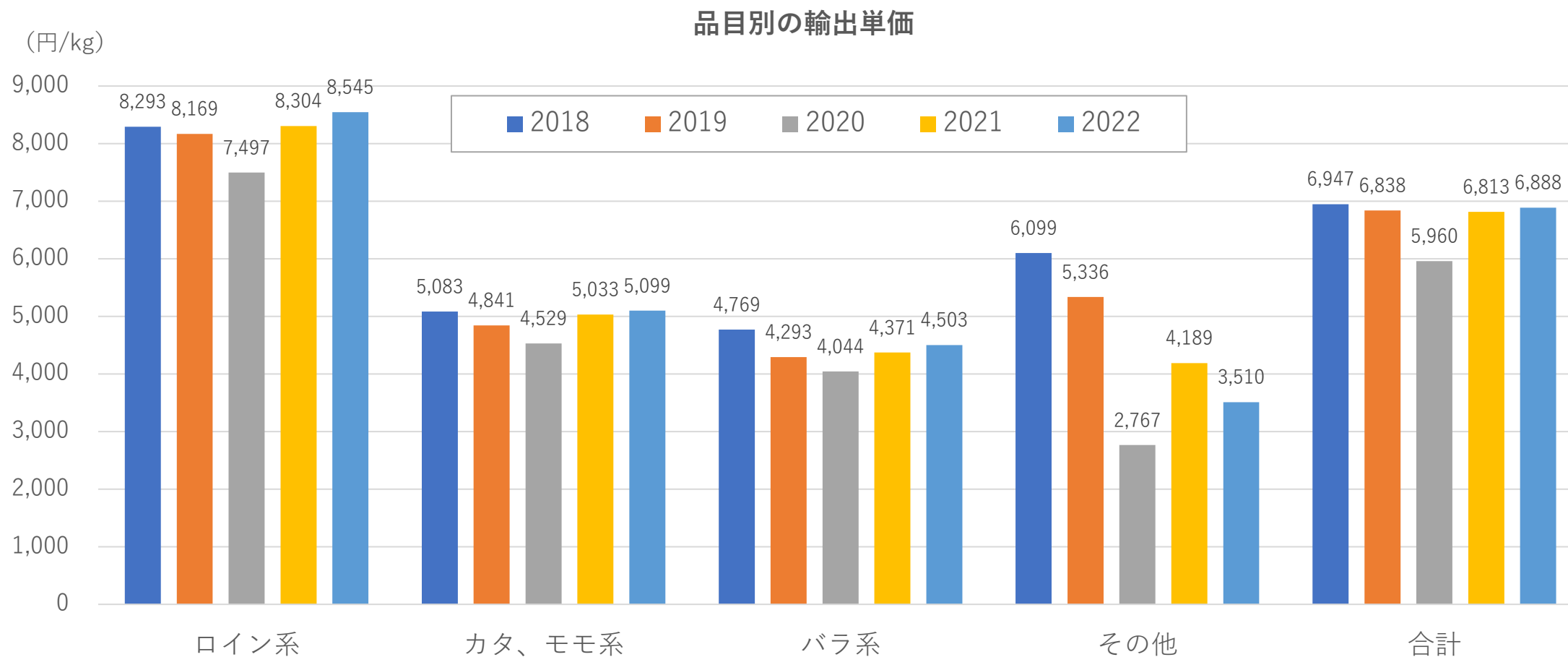
品目別輸出割合（金額ベース）



## 5 部位別の輸出単価



- 2022年の平均（合計）単価は、前年からわずかに上昇（101%）し6,888円/kg
- 品目別にみると、ロイン系及びバラ系の単価がそれぞれ3%上昇

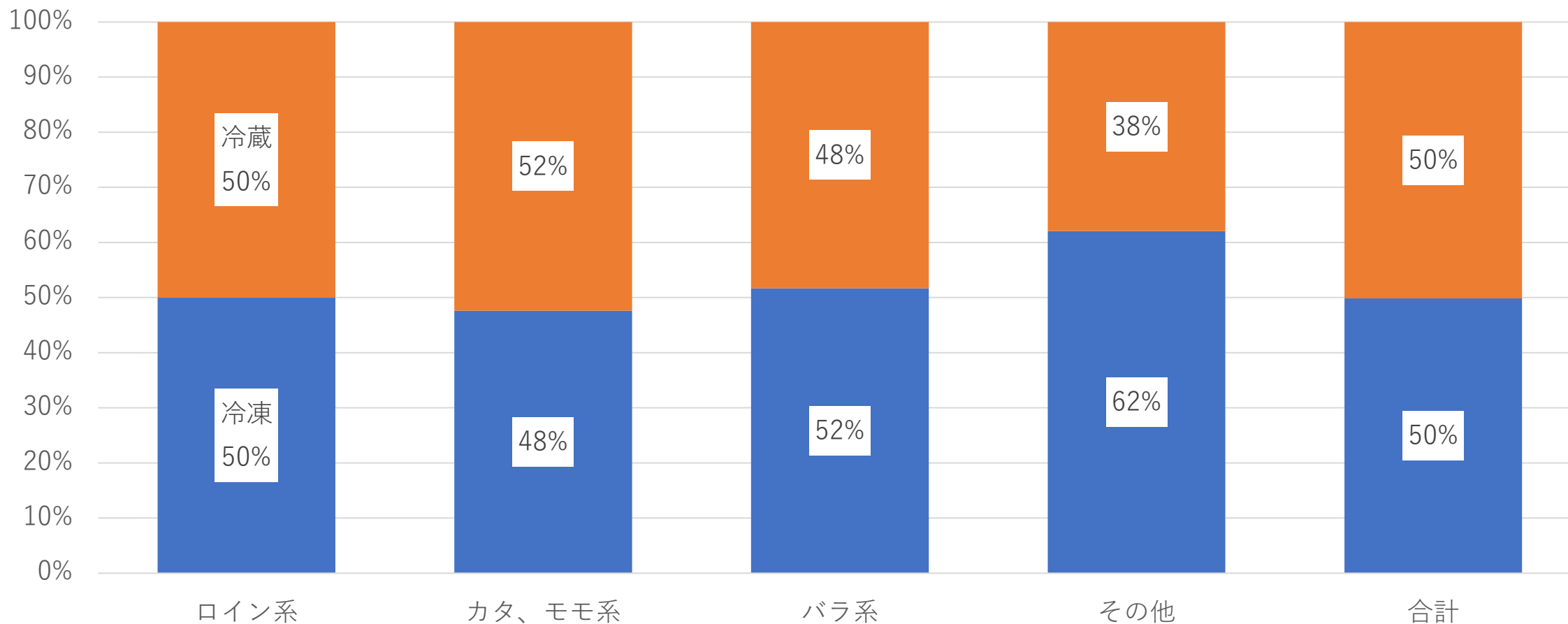


## 6 部位別の冷蔵・冷凍比率



- 2022年の全輸出数量における冷蔵・冷凍割合は、冷蔵が50%、冷凍が50%とほぼ同程度
- 前年との比較では、全品目とも冷蔵の比率が上昇

2022年 部位別の冷凍・冷蔵割合

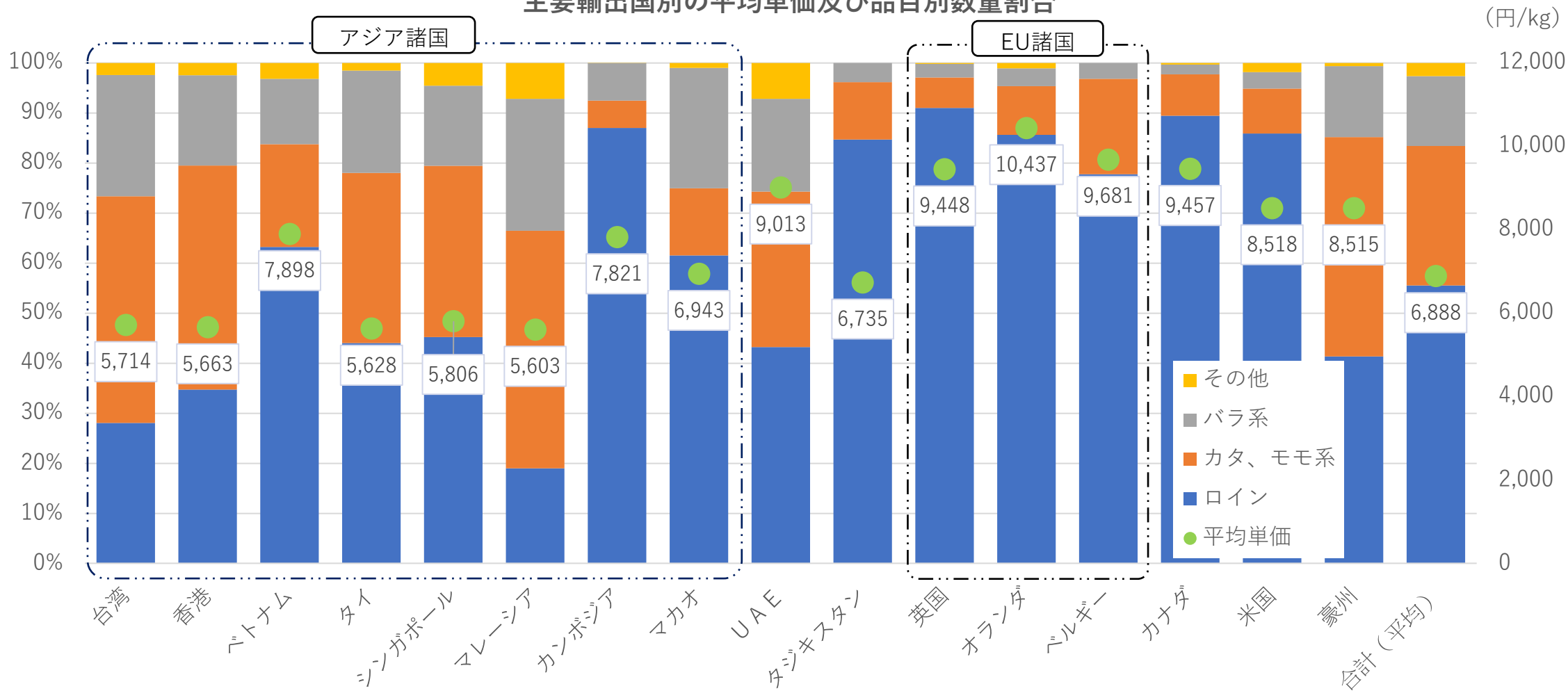


# 7 主要輸出国別の平均輸出単価の比較



- 2022年の平均輸出単価の高い国は、前年同様にEU諸国、北米、UAE、豪州などで8,000円/kg以上
- アジア諸国はロイン系の比率が総じて低く、平均輸出単価も低めの傾向

主要輸出国別の平均単価及び品目別数量割合



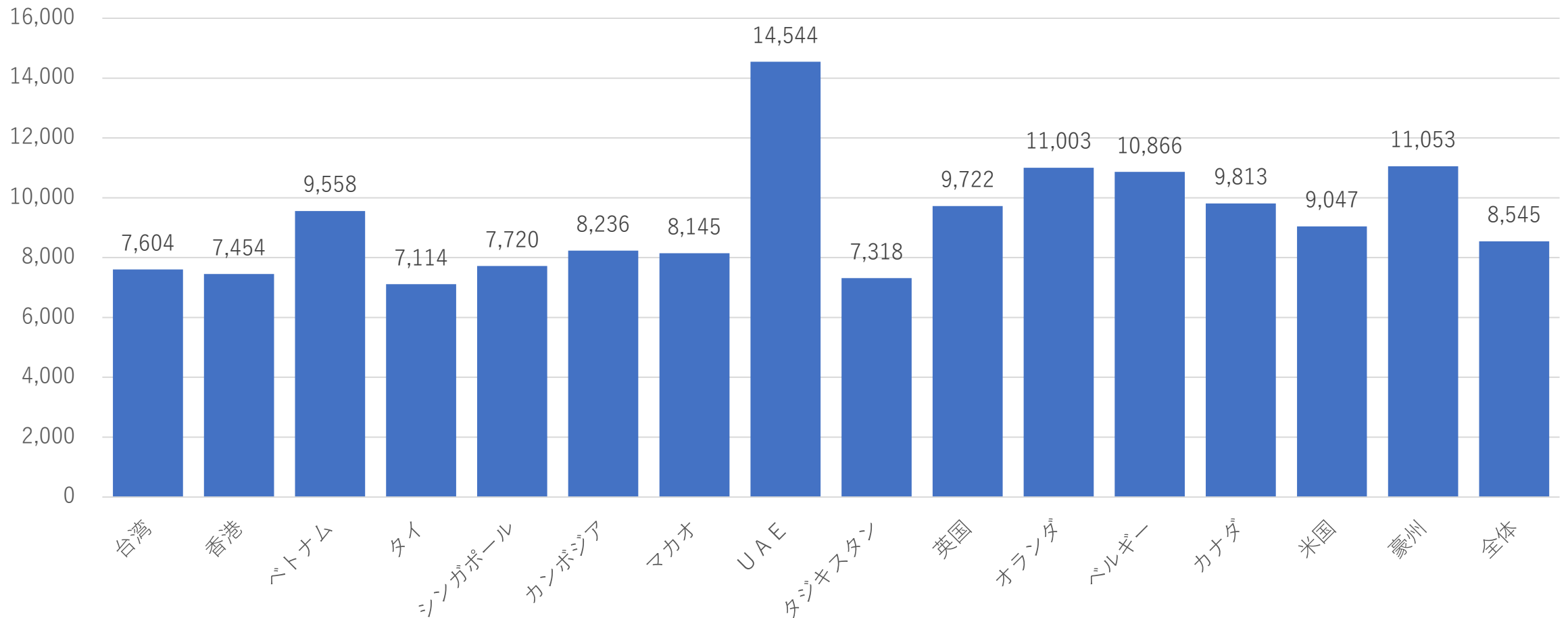


## 8 主要輸出国別のロイン系の輸出単価の比較



- 2022年のロイン系の平均輸出単価は、前年より3%上昇し8,545円/kg
- 最高値はU A Eで、前年より10%上昇し14,544円/kg

2022年 主要国別のロイン系輸出単価（円/kg）

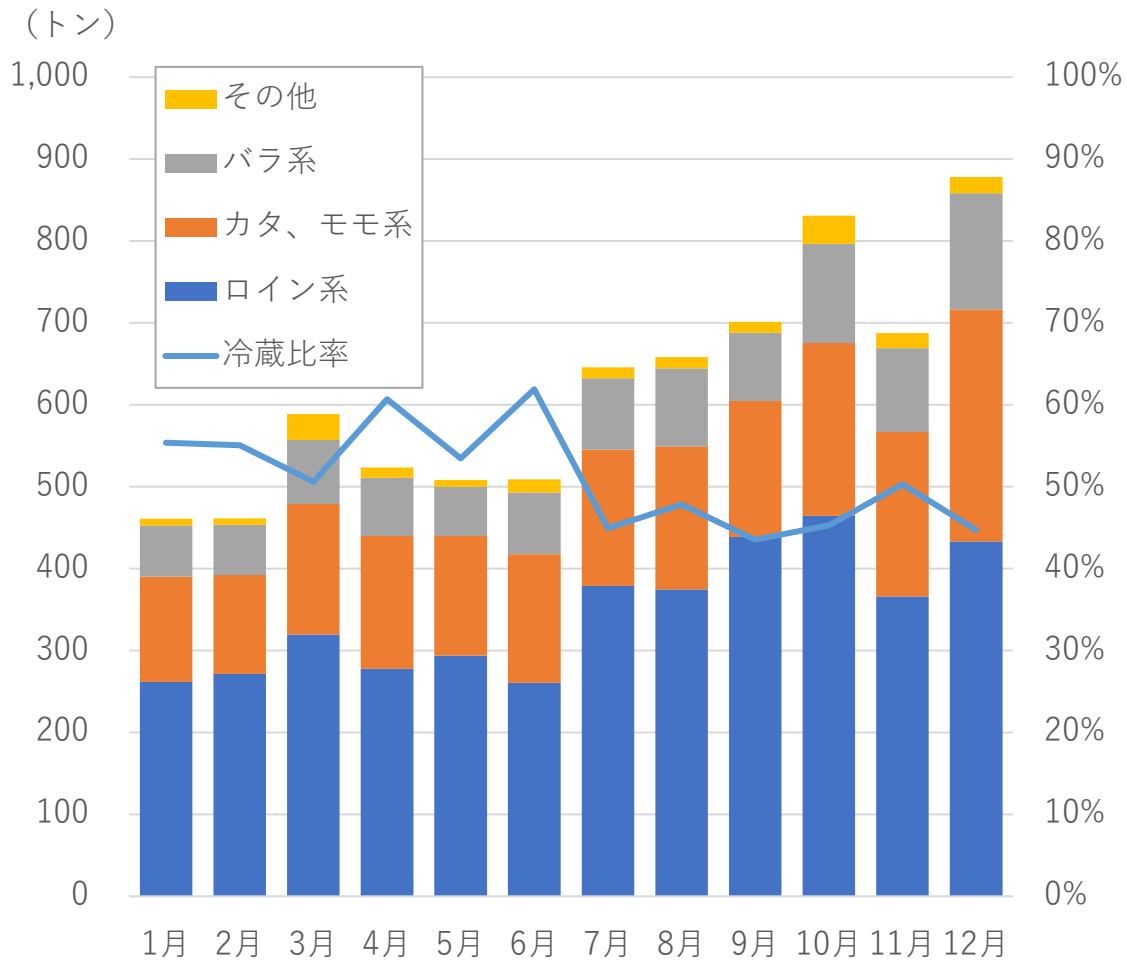


# 9 2022年の月別輸出の推移

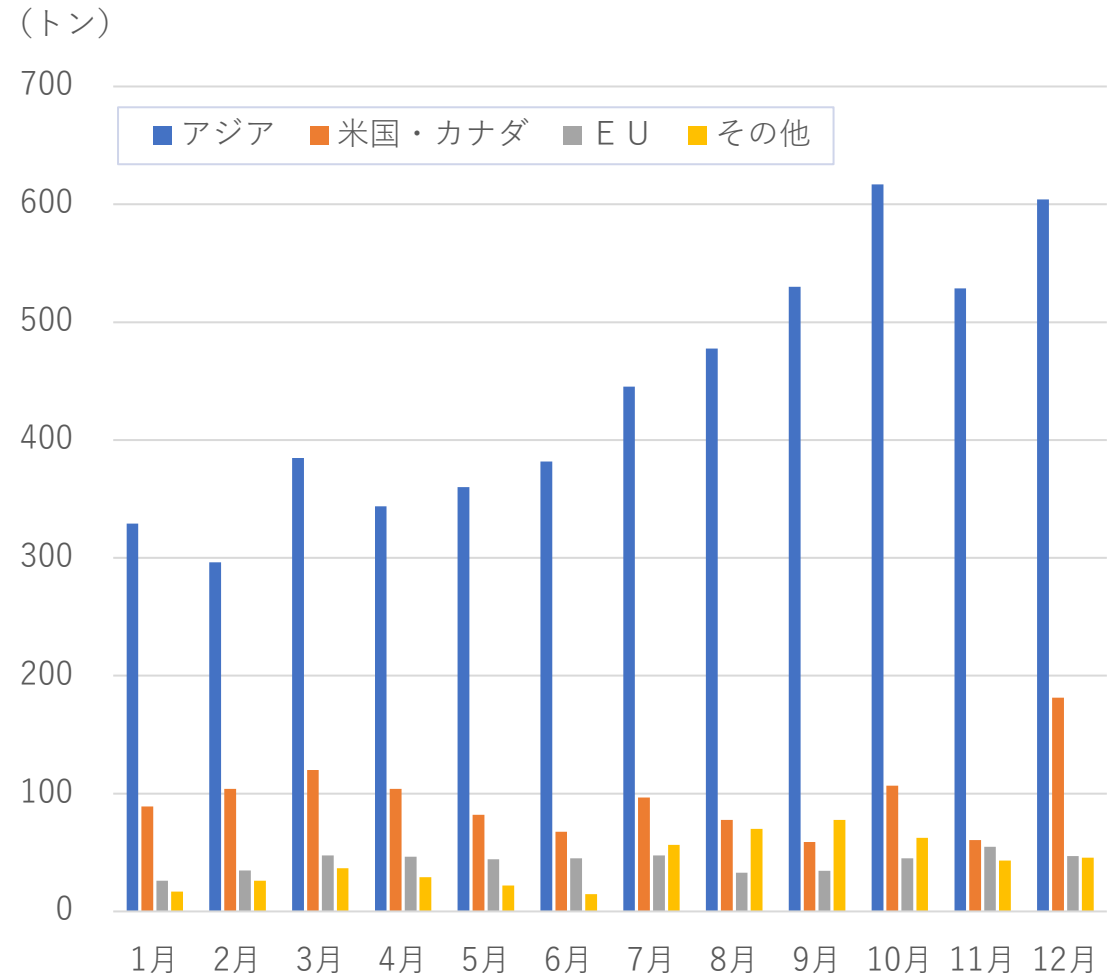


• 月別の輸出量をみると、アジア向けを中心に年末に向けて増加する傾向

月別・部位別の輸出数量及び冷蔵比率



月別・地域別の輸出数量



# 10 2022年の輸出金額上位10か国・地域



	2021年（冷蔵・冷凍計）					2022年（冷蔵・冷凍計）						
	数量 (トン)	前年比	金額 (百万円)	前年比	単価 (円/kg)	数量 (トン)	前年比	金額 (百万円)	前年比	単価 (円/kg)	数量割合	金額割合
第1位 米国	1,178	225%	10,252	244%	8,701	1,073	91%	<b>9,135</b>	89%	8,518	14%	18%
第2位 香港	1,383	127%	7,564	140%	5,469	1,366	99%	<b>7,736</b>	102%	5,663	18%	15%
第3位 台湾	972	119%	5,482	132%	5,638	1,246	128%	<b>7,119</b>	130%	5,714	17%	14%
第4位 カンボジア	2,218	189%	15,748	204%	7,100	906	41%	<b>7,085</b>	45%	7,821	12%	14%
第5位 EU	362	235%	3,511	250%	9,710	506	140%	<b>5,033</b>	143%	9,944	7%	10%
第6位 シンガポール	463	145%	2,665	151%	5,760	595	129%	<b>3,453</b>	130%	5,806	8%	7%
第7位 タイ	306	158%	1,806	162%	5,894	577	188%	<b>3,250</b>	180%	5,628	8%	6%
第8位 タジキスタン	147	293%	705	329%	4,786	260	177%	<b>1,753</b>	249%	6,735	3%	3%
第9位 マレーシア	178	224%	1,024	235%	5,763	241	136%	<b>1,349</b>	132%	5,603	3%	3%
第10位 ベトナム	89	158%	699	168%	7,844	144	162%	<b>1,141</b>	163%	7,898	2%	2%

# 11 2022年の主要輸出国別のロイン比率等



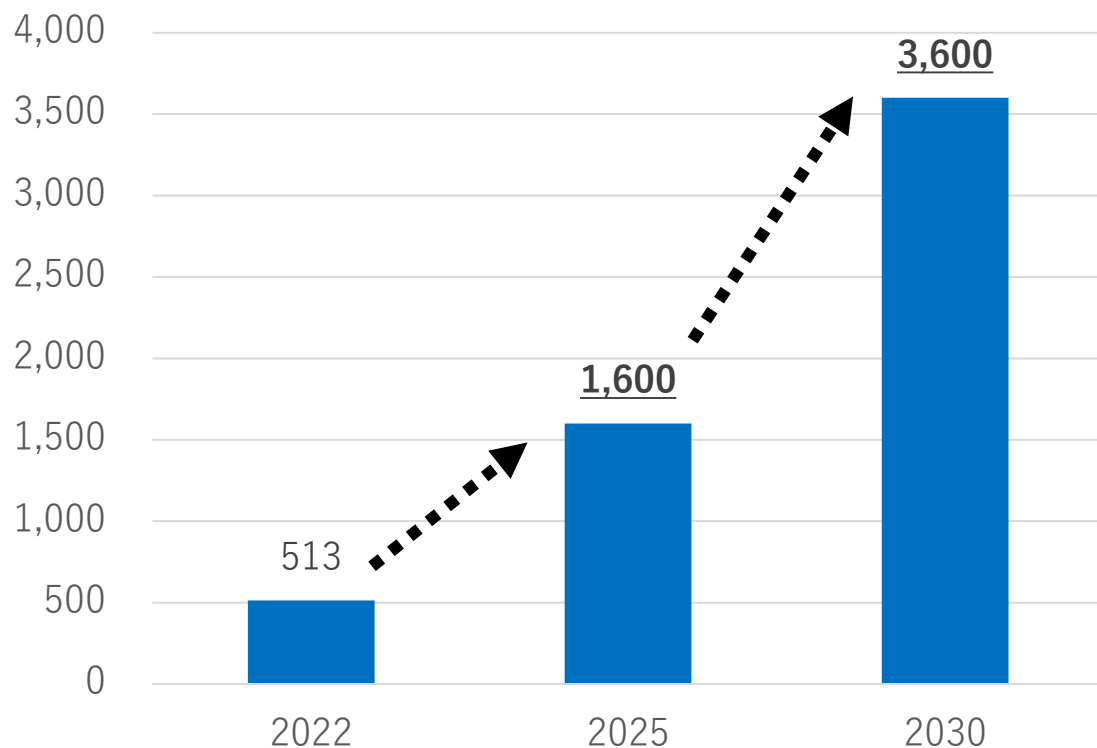
	数量 (トン)	金額 (百万円)	冷蔵数量 比率	全品目単価 (円/kg)	ロイン単価 (円/kg)	ロイン数量 比率	備考
米国	1,073	9,135	73%	8,518	9,047	86%	冷蔵品が7割、ロイン系が8割以上
香港	1,366	7,736	39%	5,663	7,454	35%	冷蔵品が4割、カタ・モモ系が45%、ロイン系が35%
台湾	1,246	7,119	90%	5,714	7,604	28%	冷蔵品が9割、カタ・モモ系が45%、ロイン系が28%
カンボジア	906	7,085	0%	7,821	8,236	87%	ほぼ冷凍品のみ、アジアの中ではロイン系比率高い
シンガポール	595	3,453	61%	5,806	7,720	45%	冷蔵品が6割、ロイン系が4割、カタ・モモ系3割
タイ	577	3,250	8%	5,628	7,114	44%	ほぼ冷凍品、ロイン系が4割、カタ・モモ系3割
EU	506	5,033	95%	9,944	10,568	86%	ほぼ冷蔵品、ロイン系が8割以上
オランダ	167	1,740	88%	10,437	11,003	86%	冷蔵品が9割、ロイン系が8割以上
ベルギー	105	1,012	100%	9,681	10,866	78%	すべて冷蔵品、ロイン系が8割、カタ・モモ系が2割
英国	103	972	96%	9,448	9,722	91%	冷蔵品が9割、ほぼロイン系
豪州	97	828	93%	8,515	11,053	41%	ほぼ冷蔵品、カタ・モモ系が44%、ロイン系が41%
UAE	91	820	2%	9,013	14,544	43%	ほぼ冷凍品、ロイン系が4割、カタ・モモ系が3割
合計	7,454	51,346	50%	6,888	8,545	56%	

# 12 牛肉の輸出目標



- 2022年の輸出額は、513億円と大幅に増加した前年をやや下回った(前年比96%)。
- 政府は牛肉の輸出目標を2025年に1,600億円、2030年に3,600億円と設定
- 政府は2020年11月に2025年の輸出拡大実行戦略を定め、香港330億円、台湾239億円、米国185 億円、EU104億円、中国400億円と設定

牛肉の輸出額と目標 (億円)



	2022年	2025年目標	2030年目標
合計	513	1,600	3,600
香港	77	330	
台湾	71	239	
米国	91	185	
E U	50	104	
中国	—	400	
その他	223	343	

# 13 和牛ロインの輸出割合の試算



- 2022年のロイン系の輸出量は、国産和牛のロイン系生産量の18%に相当

- ① ロイン系は、リブローズ、サーロイン及びヒレの3部位とし、いずれも（社）日本食肉格付協会の牛部分肉取引規格（13部位）に基づいた製品として推計
- ① 和牛枝肉生産量は農林水産省「食肉流通統計」の和牛のうちオスを除く生産量
- ② 和牛ロイン系推計生産量に用いた70%は枝肉からの部分肉歩留まり、14%は①の13部位にロイン系の占める構成比として推計

年次	ロイン系輸出重量 (トン) a	和牛枝肉生産量 (トン) b	和牛ロイン系推計生産量 (トン) c : $b \times 70\% \times 14\%$	ロイン系生産に占める ロイン系の輸出割合 a/c
2017	1,736	205,767	20,165	9%
2018	2,020	211,936	20,770	10%
2019	2,664	215,734	21,142	13%
2020	2,590	226,807	22,227	12%
2021	4,546	228,618	22,405	20%
<b>2022</b>	<b>4,141</b>	<b>233,307</b>	<b>22,864</b>	<b>18%</b>

# 14 牛肉輸出の国内価格・生産の下支え効果



九州大学『和牛の輸出効果等調査分析業務』

高橋昂也 前田幸嗣 福田晋 (2019)

- (1) 農産物の輸出は、需給調整を通じて、国内価格を下支えする効果を持っているとされている。
- (2) 牛肉について2008年～2018年のデータを統計処理して、牛肉の輸出の効果を試算して次のような結果を得た。
  - ① 牛肉の輸出増加は、A3～A5ランクの和牛の枝肉卸売価格を有意に上昇させる効果がある。
  - ② 2018年の輸出量 (5,084トン/年) から見ると、牛肉輸出はA3～A5ランク和牛が 枝肉卸売価格を232.8円/kg(8.8%)  
枝肉生産量を8,444トン/年 (4.8%) 生産額を609億4,998万円 (13.2%)  
下支えしている。